# 歯について お悩みはありませんか

歯科医師　池田貴之

学校、保育園等でも検診が行われ、結果をもって受診されるお子さんが多く見受けられます。今回は検診でよく質問があることを挙げてみました。参考にしてください。

**Q1：歯並びは遺伝するのですか？**

すべてが遺伝であるとは言えません。咬み合わせの成長は遺伝的な要素と環境的な要素によって影響を受けます。咬み合わせが悪い場合、骨が原因である場合と歯が原因である場合があり、前者は遺伝が関係、後者は環境が原因となりやすいです。

**Q2：不正咬合の予防はできますか？**

骨格が原因である場合は予防が難しいですが、環境が原因である場合はある程度予防が可能です。

**Q3：指しゃぶりは歯並びに影響するのですか？**

指しゃぶりは上あごに親指を押し付けます。そうすると頬の筋肉が強く働き上の歯の列は外から押されることでV字型になってしまいます。

→上顎前突、開咬、奥歯の交叉咬合

ただし時期によっては指しゃぶりは精神の安定や口の周りの筋肉の発達に重要な役割を果たします。2～3歳頃までは生理的なものと考え、4～5歳以降の頑固なものに関してはやめたほうがよいでしょう。

**Q4：歯ブラシ嫌いを直すにはどうしたらよいでしょうか？**

強引にすすめず、次のような遊びの延長上にあるような設定を考えましょう。

○家族と一緒に行い、まねをさせる。
○歌を歌ったり、絵本を見せながら行う。
○お風呂で磨く。
○香り、味のついた歯磨き粉を使用する。

**Q5：歯磨きの歯磨剤は必要ですか？**

汚れを落とすには歯ブラシだけで充分です。しかし今は虫歯予防の効果のあるものが多く市販されていますから、うがいができるようになったら使用しても良いでしょう。子どもの場合、フッ素入りのものを使用することをお奨めします。

**Q6：フッ素はどのくらいの頻度で塗ればよいでしょう？**

濃度の高いものは一年に一回で効果があると言われますが、実際には4～6ヶ月ごとに塗布することが良いでしょう。

**Q7：フッ素はいつからぬれば良いでしょう？**

幼若な歯質ほど効果的に取り込まれます。歯が生えたら適応期です。

**Q8：乳歯の虫歯は生えかわるまで放置してよいですか？**

乳歯の虫歯は永久歯列や咬合、後継永久歯に影響することが知られています。

放置することはよくありません。

**Q9：歯医者で神経を取ったと言われたのに歯が痛いのはどうしてですか？**

歯の痛みは神経だけでなく歯を支えている周囲の組織も感じます。炎症が神経だけでなく歯を支えている周囲組織にも広がっていることが考えられます。

## 不正咬合の種類

叢生（そうせい）

デコボコの歯並び・八重歯

上顎前突（じょうがくぜんとつ）

出っ歯

下顎前突（かがくぜんとつ）

反対咬合・受け口

過蓋咬合（かがいこうごう）

咬みあわせが深い

開咬（かいこう）

奥歯を咬んでも前歯が

空隙歯列（くうげきしれつ）

すきっ歯